

第 6 2 回 宇 都 宮 市 都 市 計 画 審 議 会 議 事 録

平成 2 8 年 4 月 2 8 日 (木)

午後 1 : 3 0 ~

宇 都 宮 市 民 プ ラ ザ 多 目 的 ホ ー ル

出席委員

1 号 委 員

菊池昭吾委員, 横尾昇剛委員,
岡田豊子委員, 高橋晃委員,
蟹江教子委員, 大森宣暁委員,
里村佳行委員, 森岡正行委員 (8 名)

2 号 委 員

村田雅彦委員, 舟本肇委員,
櫻井啓一委員, 今井恭男委員 (4 名)

3 号 委 員

角田永子委員
齋藤守委員
渡辺千里委員 (3 名)
(計 1 5 名)

出席幹事

福原悟幹事, 飯塚由貴雄幹事,
的場征史幹事, 赤石澤亮幹事,
青木克之幹事, 高橋功幹事,
青柳高行幹事 (7 名)

(臨時幹事)

高橋裕司幹事 (1 名)

事務局

金田昌幸書記, 牧口次利書記,
上田英夫書記 (3 名)

金田書記

本日は、お忙しいなか、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今から、第62回都市計画審議会を開会いたします。

進行を勤めさせていただきます都市計画課・課長補佐の金田でございます。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、このたび、学識経験者である1号委員の皆さまと、関係行政機関の職員である3号委員の一部の方が改選となり、改めて都市計画審議会の委員をお願いすることになりましたので、この場をお借りして、委嘱状をお渡ししたいと思います。

福原部長

(委嘱状交付)

金田書記

続きまして、本日の会議資料について確認させていただきます。

資料としては、事前にお送りしております、

- ① 第62回宇都宮市都市計画審議会 次第
- ② 会議資料

報告案件「宇都宮市立地適正化計画について」

本日、机上に配布いたしました、

- ④ 宇都宮市都市計画審議会委員名簿
- ⑤ 宇都宮市都市計画審議会関係資料

以上の資料となっております。

不足しているものがありませんでしたら、お知らせください。

よろしいでしょうか。

金田書記 今回の審議会は、今年度最初の審議会となりますので、開会にあたり、福原都市整備部長より、ご挨拶申し上げます。

福原部長 本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。都市整備部長の福原でございます。第62回宇都宮市都市計画審議会の開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

委員の皆様におかれましては、日ごろから、本市における都市計画行政の運営にあたり、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、新たに委員となられた皆様におかれましては、快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。また、昨年度より、お世話になっております委員の皆様におかれましても、引き続きよろしくお願いたします。

さて、本市では、持続的に発展し続けることができる「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指し、都市拠点、地域拠点の形成や、LRTを含めた公共交通ネットワークの構築などを推進しております。

その実現を図るためには、都市計画行政に課せられた役割は、非常に重要であると考えております。特に、今年度は、ネットワーク型コンパクトシティの具現化を図るための立地適正化計画の策定や、東西基幹公共交通の基軸となるLRT事業に関する都市計画決定などが予定されており、都市計画審議会の果たす役割は大変重要であると認識しております。

委員の皆様には、それぞれの専門的な立場からご議論いただき、望ましい宇都宮市の実現に向けて、ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

金田書記 ありがとうございます。

続きまして、本日は委員の改選後、初めての会議となりますので、恐縮ではございますが、私から委員の皆様を改めて

ご紹介させていただきますとともに、幹事及び事務局の職員をご紹介申し上げます。

まず、委員の皆様からご紹介申し上げます。

はじめに、第1号委員として、学識経験者のお立場でご出席いただいております、

菊池 昭吾委員です。

横尾 昇剛委員ですが所要により若干遅れる予定となっております。

岡田豊子委員です。

高橋晃委員です。

蟹江教子委員です。

大森宣暁委員です。

里村佳行委員です。

森岡正行委員です。

次に、第2号委員として、宇都宮市議会からご出席いただいております、

櫻井啓一委員です。

村田雅彦委員です。

舟本肇委員です。

今井恭男委員です。

続きまして、第3号委員といたしまして、関係行政機関からご出席いただいております、

角田永子委員です。

斎藤守委員です。

渡辺千里委員です。

続きまして、幹事および事務局職員を紹介いたします。

まず幹事の紹介をいたします。

都市整備部長の福原です。

都市整備部次長の飯塚です。

地域政策室長の的場です。

環境政策課長の赤石澤です。
農業企画課長の青木です。
技術監理課長の高橋です。
都市計画課長の青柳です。
市街地整備課長の高橋です

続きまして、事務局職員の紹介をいたします。
都市計画グループ係長の牧口です。
同じく都市計画グループ係長の上田です。
最後に私、都市計画課長補佐の金田です。

ここで、本日の会議の成立について、事務局より報告をお願いいたします。

牧口書記 本日の会議でございますが、現在出席委員は14名でございます。これは、当審議会条例第6条でございます「審議会は委員の過半数をもって開催する」旨を満たしておりますので、会議の成立をご報告いたします。

金田書記 続きまして、本日の会議の公開についてですが、本日の議案は、個人情報扱う案件ではないため、「公開」としてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

金田書記 続きまして、本日の傍聴者について、事務局より報告をお願いいたします。

牧口書記 本日の会議につきましては、傍聴定員10名のところ、現在の傍聴者は0名でございます。
また、記者は3名でございます。

金田書記 なお，記者の方から，写真等の撮影の要望がありますが，
会長職務代理者，よろしいでしょうか。

櫻井委員 異議ございません。
写真やビデオ撮影につきましては，議事に入る前までといた
しますので，よろしく願います。

（横尾委員到着）

金田書記 横尾昇剛委員です。

それでは，早速，「3．会長選出」に入らせていただきます。
本日の会議でございますが，当審議会条例第6条において
「会議は会長が議長となる」旨規定されておりますが，本日は，
1号委員の改選により会長が不在となっておりますので，
会長が選出されるまでの間，会長職務代理者である櫻井委員
に議事を進行していただきたいと思っております。
櫻井委員，よろしく願います。

櫻井委員 会長職務代理者の櫻井です。
議長を務める会長が選出されるまでの間，皆様のご協力を
いただきながら，議事をスムーズに進めていきたいと考えて
おりますので，よろしく願います。

それでは，「会長選出」でございますが，会長につきましては，
当審議会条例において，「学識経験者である1号委員から
選出する」旨規定されておりますが，委員の皆さま，ご意見
ございますか。

森岡委員 宇都宮のまちづくりに関して精通していらっしゃる，大森
委員を推薦したいと思います。いかがでしょうか。

櫻井委員 只今，森岡委員から，大森委員を会長に推薦する旨のご意
見がございました。ほかにご意見ございますか。

ほかに意見がないようですので、お諮りいたします。

当審議会の会長として大森委員を選出することについて、ご異議ございますでしょうか。

各委員 異議なし

櫻井委員 それでは、ご異議がないようですので、大森委員を会長とすることに決定いたします。

それでは、この後の議事の進行を、大森会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

大森会長 只今、会長にご推薦いただきました大森です。

宇都宮大学では、4月に新設されました地域デザイン科学部の社会基盤デザイン学科というところに所属しております。大学では都市計画研究室として、研究教育をおこなっておりますが特に都市の交通計画、また、人間の交通行動の分析、バリアフリーのまちづくりなどを専門としてございます。

宇都宮大学には一年半ほど前に着任したのでございますが、10年ほど前から宇都宮には住んでございまして、それまでは東京の大学で勤務してございました。それで東京周辺の自治体の都市計画や交通計画に関わるような委員会には参画させていただいてございます。また都市計画審議会は、さいたま市や東京都江東区、神奈川県二宮町で委員として参画させていただいた経験がございます。

先程、福原部長からお話ございましたように、現在、宇都宮の都市計画は大変重要な局面をむかえているところだと認識しております。将来の若者から高齢者まで誰もが、住めば愉快だ宇都宮と感じられるようなまちを目指して、皆様と一緒にこの審議会で真剣に審議していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

大森議長

はじめに、当審議会条例の施行規則第3条に基づき、本日の会議の議事録署名委員といたしまして、
菊池 昭吾（きくち しょうご）委員と
高橋 晃（たかはし あきら）委員の
お二人にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、会議次第に従い議事を進めてまいります。

写真やビデオ撮影については、ここまでにさせていただきたいと思えます。

本日の議事ですが、本日は、議案がございません。

「4. その他」ですが、本日は、事務局から「立地適正化計画について」ということで報告事項が提案されています。
早速、説明をお願いいたします。

高橋臨時幹事

その他立地適正化計画についてご説明させていただきます。
着座にて説明させていただきます。宜しく申し上げます。
それでは資料1 仮称宇都宮市立地適正化計画素案及び、地域拠点等に係る都市機能誘導区域の設定基準案の修正についてといった資料をご覧ください。

趣旨でございますが、平成28年2月26日の都市計画審議会におけるご審議を踏まえまして、仮称の宇都宮市立地適正化計画素案及び都市機能誘導区域の設定基準案を修正いたしましたことから、その内容について報告するものでございます。

このうち立地適正化計画の素案につきましては、先月、公表させていただいたところでございます。その内容等につきましては、すでに文書等にてご案内させていただいているところでございますが、あらためまして本日修正等についてご

報告させていただくものでございます。

まず1の仮称宇都宮市立地適正化計画素案についてでございます。

まず、公表した計画素案のポイントについてふれたいと思います。

1 計画の内容についてでございますが、平成28年度末の計画策定に向け、市民や関係団体等の意見を伺うため、立地適正化計画のベースとなる基本的な方針や誘導区域等の考え方を整理したものでございます。

(2) 計画の特徴についてでございますが、本市の立地適正化計画の特徴をとりまとめたものでございます。

まず一つ目でございますが、本計画におきましては、ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョンを踏まえ、都市全体を見渡した視点から方針を位置付け、並行して検討を進めてございます市街化調整区域の土地利用方針とともに、周辺を含めた拠点形成や定住環境の維持・向上などに一体的に取り組むこととしてございます。

具体的には、2つ目になりますが、都市の活力や競争力をけん引する中心市街地を核に、多様な都市機能を集積する高次都市機能誘導区域を配置し、また、都市機能誘導区域におきましては、地域の成り立ちや土地利用の状況などを勘案し、内環状線の内側また、交通結節点などの周辺に候補地域を配置し、地域特性に応じた都市機能の誘導・集積を図っていくこととしてございます。

また、居住につきましては、街なか居住や郊外居住、さらには田園居住など多様な暮らし方が選択できる、メリハリのある居住地を維持・形成していくための居住地形成の方向性を盛り込んでございます。

更には、交通におきましては、ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた都市づくりの基本的な方向といたしまして、土地利用と交通が一体となった都市づくりの推進を位置

付け，LRT 事業をはじめとした公共交通施策との連携を図っていくこととしてございます。

次に，前回の都市計画審議会におけるご意見を踏まえた修正箇所等について説明させていただきます。

別紙 1 - 1 をご覧ください。

前回の都市計画審議会におきまして，いただいたご意見を取りまとめたものでございますが，

1 といたしまして，これから都市全体の骨格が変わっていく流れの中で，省エネルギーや環境の考え方が入っていた方がよいのではないかというご意見と，

また，2 といたしまして，大規模な自然災害への対応が求められているため，防災的な安全に暮らせる街という考え方を盛り込む必要があるのではないかといったご意見をいただきました。

いただいたご意見への対応につきましては，

別紙 1 - 2 の仮称宇都宮市立地適正化計画素案の概要版でございまして，この文の

左下の 3 都市づくりの課題の（5）でございまして，

アンダーラインを引いた所が文言を追加した所でございますが，

環境や防災面に配慮した持続可能で効率性の高い都市運営という風に修正したところでございます。

また，合わせまして，資料の中央二段目の 2 都市づくりの目標の（5）におきまして，

同様に，アンダーラインが文言を追加した所でございますが，環境にやさしく災害に強い持続可能で効率的な都市運営が実現する都市と修正したところでございます。

次に，具体的に本編の修正等の内容でございまして，

別紙 1 - 3 宇都宮市立地適正化計画素案の冊子の 22 ページをお開きください。

3 都市づくりの課題（5）でございまして，この 3 行目の「また」に続く箇所を追加・修正してございます。進行する温暖化を抑制するための都市全体の低炭素化や，近年多発する自

然災害・異常気象等のリスクへの対応が求められていることから、環境負荷の低減や防災性の向上に配慮しながら、持続可能で効率性の高い都市運営を行っていく必要がありますという風に修正したところでございます。

また、24ページをお開きください。2 都市づくりの目標の(5)環境にやさしく災害に強い持続可能で効率的な都市運営が実現する都市の1行目の「とともに」に続く箇所を修正してございます。都市の省エネルギー化や防災機能の強化に配慮しながら、人口減少や高齢化に対応した都市構造を形成し、環境にやさしく災害に強い持続可能で効率的な都市運営を推進しますと修正しております。

本編資料 資料1にお戻りいただきたいのですが、裏面になります2 地域拠点等に係る都市機能誘導区域の設置基準案についてでございます。

こちらにおきましては都市機能誘導区域の設定にあたりまして、区域設定の基本的な考え方、あるいは設定基準案を整理したものでございますが、その修正箇所については別紙2-1をご覧ください。

前回の都市計画審議会におきまして、いただいた意見・指摘等でございますが、地域拠点等の類型と類型別基準案について、都市計画まちづくりの基準に加えて、サブの基準としてインフラの充実度といった視点も入れた方がよいのではないかと。というような意見でございます。

いただきましたご意見への対応につきましては、別紙2-2をご覧ください。

都市機能誘導区域の設定基準の1 基本的な考え方におきまして、

アンダーラインを示した所が修正したポイントでございます、

一定の都市基盤、インフラが充実している場所などを基本に設定するということで文言を追記してございます。

また、ただいま説明させていただきました計画素案の方針におきまして、防災にかかる文言を追加したということで、

合わせて、2 設定基準案のウ 防災性の項目を追加してご
ざいます。

関係法令に基づき、誘導区域に適さない災害リスクが高いエ
リアを考慮して設定する。

との記載を追加してございます。

今後、このような設定基準を基本としながら、具体的な誘導
区域の設定を検討してまいりたいと考えてございます。

資料1の説明については以上でございます。

続きまして、今後の立地適正化計画の策定スケジュールにつ
きまして、ご説明させていただきます。

A4横の資料 立地適正化計画策定スケジュールをご覧ください。

立地適正化計画におきましては、都市計画審議会におきまし
て、概ね四半期ごとにご審議をお願いしたいという風に考え
てございます。

次回は、6月の下旬を予定してございますが、都市機能誘導
区域内に誘導すべき、誘導施設の設定の考え方あるいは誘導
施設の案などにつきまして、ご意見を伺ってまいりたいとい
う風に考えてございます。

なお、誘導施設の検討にあたりましては、ネットワーク型コ
ンパクトシティの理念を踏まえまして、
公共交通ネットワークによる拠点間の連携・補完、足りない
機能を補ったことを考慮しながら検討してまいりたいという
風に考えてございます。

その後は、市民の説明会の開催、あるいは関係団体へのヒア
リングなどを通して、ご意見を頂きながら、市独自の支援策
を含めた誘導策を検討いたしまして、年末を目標に、都市機
能誘導区域と誘導施設、また、誘導策を含めた計画素案を取
りまとめ、パブリックコメントをしてまいりたいという風に
考えてございます。

そして、来年2月、年度末には都市計画審議会から立地適正

高橋臨時幹事

化計画についての答申をいただきまして、年度末に計画を策定・公表してまいりたいという風に考えてございます。

以上がスケジュールの説明でございます。

最後になりますが、資料の一番後ろにございます参考資料市街化調整区域における土地利用方針といったタイトルの資料でございます。こちらにつきましては、前回もご説明させて頂きましたけれども、こちらは、ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョンを踏まえまして、立地適正化計画の策定と合わせて、市街化調整区域に設定されております地域拠点等における生活利便機能の充実などを図るために、平成15年度に策定いたしました市街化調整区域の整備及び保全の方針を改定し、今後開発許可基準等の運用を検討するものでございます。

昨年度は、基礎調査を実施いたしまして、市街化調整区域の現状を把握したところでございます。引き続き土地利用方針の検討してまいりますので、今後、適宜、立地適正化計画等あわせまして、都市計画審議会におきまして、ご意見を伺ってまいりたいという風に考えてございますので、併せてよろしくお願いいたします。以上で説明を終わります。宜しくお願いします。

大森議長

ご説明ありがとうございました。委員の皆様からご意見・ご質問などございましたらお願いいたします。

今回初めてご出席されている委員のみなさんも多いと思いますので、遠慮なくご質問などいかがでしょうか。

特にございませんでしょうか。

次回以降も徐々につめていくということでございますので、本日はご質問なければ、報告の方はこれで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

以上で報告を終わりにいたします。

| | |
|------|--|
| 大森議長 | その他，事務局より連絡事項等ございますか。 |
| 牧口書記 | 特にございません。 |
| 大森議長 | それでは，これもちまして「第62回宇都宮市都市計画審議会」を閉会いたします。 |